本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

P

30件の電話番号／通貨換算／8桁計算
ワールドタイム／アラーム／ストップウオッチ

2332＊JA

取扱説明書

2332

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

■ 本機の特長

●アナログ&デジタル時計

アナログとデジタル時計で時刻を表わします。

●EL バックライト

暗いところでもボタン１つで表示を明るく照らします。

●テレメモ

「名前８文字、数字 14 桁」のデータを最大 30 件まで記憶できます。

●通貨換算

換算レート＊を入力しておくと、簡単に通貨換算ができます。
＊レートをあらかじめ設定します。（レートは１種類のみセットできます）

●その他

世界29タイムゾーン（27都市）の標準時刻および、世界標準時（GMT）がわかる**ワールドタイム**をはじめ、**８桁計算**機能、**時刻アラーム**、**時報**、**ストップウオッチ**機能が付いています。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）



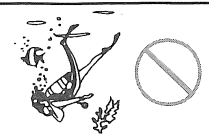
⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース･バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



目　次

安全上のご注意 …… 表紙裏面
操作のしくみと表示の見方 …… 4
ライト点灯について …… 6
デモ機能について …… 6
計算機能の使い方 …… 7
　基本計算 …… 7
　定数計算 …… 7
　計算途中の訂正のしかた …… 8
　操作確認音のON／OFF …… 8
テレメモの使い方 …… 9
　テレメモ機能について …… 9
　残りメモリー数の確認 …… 9
　テレメモデータ入力 …… 9
　テレメモデータ修正 …… 11
　テレメモデータ消去 …… 11
　テレメモデータを探す …… 11
ワールドタイムの使い方 …… 12
　都市のサーチ …… 12
　都市コード一覧 …… 13
通貨換算機能の使い方 …… 14
　レートの設定 …… 14
アラームの使い方 …… 15
　アラーム時刻のセットのしかた …… 15
　アラーム／時報を鳴らすには …… 15
ストップウオッチの使い方 …… 16
　計測のしかた …… 16
時刻・カレンダーの合わせ方 …… 16
　デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方 …… 16
　アナログ（針）部の合わせ方 …… 18
製品仕様 …… 24
ご使用上の注意 …… 25
お手入れについて …… 27
電池交換について …… 27

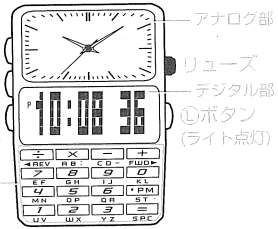
1 操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でデジタル部のモードが切り替わります。

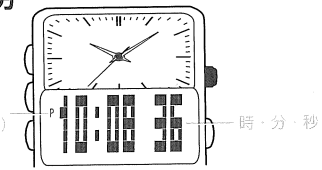
※テレメモード、アラームモードのまま２～３分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。
※計算モード、ワールドタイムモード、通貨換算モードのまま６～７分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

時刻・カレンダーモード

<時刻表示>



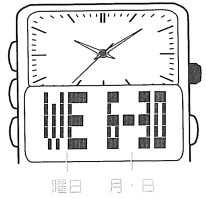
★表示の見方



★表示切替について

時刻・カレンダーモードでⒷボタンを押すごとに<時刻表示>と<カレンダー表示>が切り替わります。

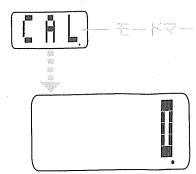
<カレンダー表示>



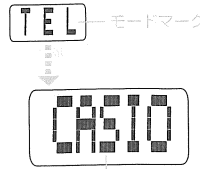
★曜日の見方

SU：日	MO：月	TU：火	WE：水
TH：木	FR：金	SA：土	

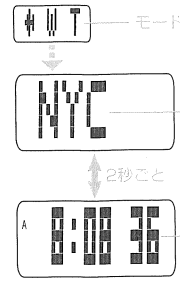
計算モード



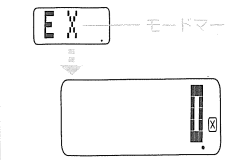
テレメモード



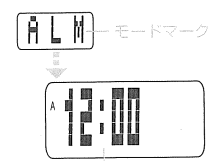
ワールドタイムモード



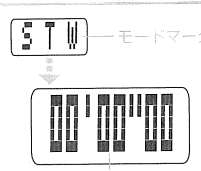
通貨換算モード



アラームモード



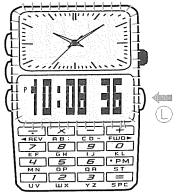
ストップウオッチモード



ライト点灯について

■ライト点灯のしかた

ストップウオッチモード以外の各モード（セット中は除く）のときに、Ⓛボタンを押すと文字板（アナログ部／デジタル部）が1.5秒間発光します。



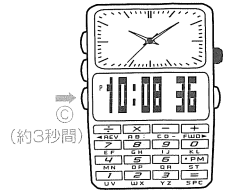
＜ご注意＞

- ●直射日光の下では発光が見えにくくなります。
- ●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

デモ機能について

本機は工場出荷時に「デモ(デモンストレーション)機能*」に設定してあります。
(デモ機能中はモード切替等の操作はできません)
*「デモ機能」とは、時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

- ●**デモ機能の解除**…Ⓒボタンを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。
- ●**デモ機能の設定**…解除するときと同様にⒸボタンを約3秒間押し続けます。



2 計算機能の使い方

時刻・カレンダーモードのときⒸボタンを1回押して、計算モードにします。

計算は置数、答えとも8桁（負数は7桁）で数式通りに計算できます。[＋]、[－]、[×]、[÷]の各キーを押すとそれぞれ計算過程（＋、－、×、÷）が確認できます。

■基本計算

数式通りに操作できます。

例　題	操　作	表示窓
53+123−63=113	53 ＋	53.
	123 −	176.
	63 ＝	113.
2.3×6×5.2=71.76	2.3 × 6 × 5.2 ＝	71.76
89÷56=1.5892857	89 ÷ 56 ＝	1.5892857
963×(23−56)=−31779	23 − 56 × 963 ＝	−31779.
(56×3−89)÷5.2+63 =78.192307	56 × 3 − 89 ÷ 5.2 ＋ 63 ＝	78.192307
123456×741852 ≒915億86080000	123456 × 741852 ＝	915.8608E 億の位　エラー

※エラー(E)表示後、Ⓑボタンを押すとエラーが解除されます。
もう一度Ⓑボタンを押すと表示されている数値が消去されます。

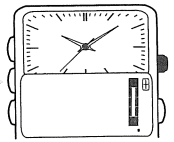
■定数計算

置数の後に[＋]、[－]、[×]、[÷]の各キーを2回押すと、その数が定数としてセットされ（Kを表示）同じ数を使った計算が簡単にできます。

例　題	操　作	表示窓
12+23=35	23 ＋ ＋ 12 ＝	K 35. ＋
45+23=68	45 ＝	K 68. ＋
7−5.6=1.4	5.6 − − 7 ＝	K 1.4 −
2−5.6=−3.6	2 ＝	K −3.6 −
2.3×12=27.6	12 × × 2.3 ＝	K 27.6 ×
4.5×12=54	4.5 ＝	K 54. ×
45÷9.6=4.6875	9.6 ÷ ÷ 45 ＝	K 4.6875 ÷
78÷9.6=8.125	78 ＝	K 8.125 ÷
17+17+17+17=68	17 ＋ ＋ ＝ ＝ ＝	K 68. ＋
$(2.3)^4$ =27.9841 (または“ $(2.3^2)^2$ ”として→	2.3 × × ＝ ＝ ＝ 2.3 × ＝ × ＝)	K 27.9841 ×

■ 計算途中の訂正のしかた

計算途中に数字を押し間違えたときは、Ⓑ ボタンを押してから、正しい数値を入力します。



※Ⓑボタンを押すと、そのとき表示されている数値が消去され、それまでの計算に支障なく引き続き計算が行なえます。また、[＋]、[－]、[×]、[÷]キーを押し間違えたときは、引き続き正しいキーを押してください。

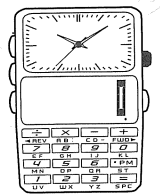
計算が終わりましたら、Ⓒボタンを押して時刻・カレンダーモードに戻します。
※計算モードのまま6～7分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

■ 操作確認音の ON／OFF

計算モードのときに、

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡Ⓐボタンを約2秒間押すごとに操作確認音の ON/OFF が切り替わります。



※操作確認音…モード切り替え、計算時のキー操作など行なったときに鳴る電子音

3 テレメモの使い方

時刻・カレンダーモードのとき Ⓒ ボタンを２回押して、テレメモモードにします。

■ テレメモ機能について

テレメモモードでは、名前（８文字）と数字（14桁）のデータを最大 30 件まで記憶できます。
データを入力すると、名前順に並び替え（**自動ソート***）が行なわれますので、データを探すときにたいへん便利です。
※テレメモモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た名前がはじめに表示されます。

* **自動ソート**… 記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は（スペース）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（－、.、:）です。

■ 残りメモリー数の確認

テレメモモードのとき、

[＝]キーを押します

➡[＝]キーを押している間、残りメモリー数を表示します。

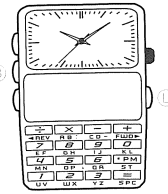


■ テレメモデータ入力

<空きページ>

(1) データ選択

[＋] または [÷] キーを押して、空きページ表示にします



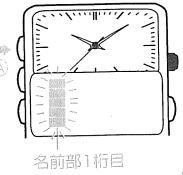
※Ⓑボタンと Ⓛ ボタンを同時に押しても空きページ表示になります。

★“FULL” 表示になるときは…
すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。
（11 ページ「■テレメモデータ消去」参照）

(2) セット表示にする

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡名前部の 1 桁目が点滅します。



(3) 名前を入れる（8文字まで）

名前が点滅しているとき、以下の操作（**文字を選ぶ、桁を選ぶ**）を繰り返して入力します。

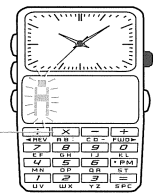
文字を選ぶ **入力キーで文字を選びます**

➡入力キーを押すごとに、そのキーに印刷（あるいはキー下部に印刷）されている文字が順番に表示されます。

例）[×] キーを押すごとに「A→B→：→A→…」を表示。

※入力できる文字は、(スペース)、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、記号(－、.、:)です。

※ピリオド（.）は [•PM] キー、スペースは [=] キーを押します。

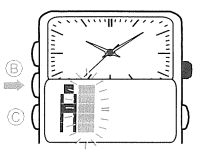


桁を選ぶ **Ⓑボタンを押します**

➡点滅箇所が右の桁に移動します。

※Ⓒボタンを押すと、点滅箇所が左に移動します。

➡名前の入力がすべて終わりましたら、Ⓑボタンを押して点滅桁を電話番号部に移動させます。（右図）





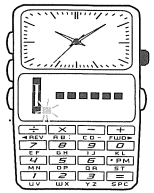
電話番号1桁目

(4) 電話番号を入れる（14桁まで）

電話番号部が点滅しているとき、

入力キーで数字を選びます

➡入力キーを押すと、そのキーに印刷されている数字が表示されます。



※入力できる数字は0～9、記号（－）、スペースです。

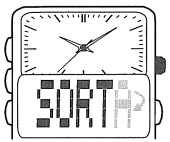
※キーを押して数字を表示させると、自動的に点滅箇所が右の桁に移動します。なお、押し間違えたときは、Ⓒボタンを押して点滅箇所を左に移動させて正しい数字を入力してください。

(5) すべての入力が終わりましたら、

Ⓐボタンを押します

<自動ソート表示>

➡自動ソートが行なわれ、新規入力表示（名前部1桁目点滅）になります。なお、続けて他のデータを入力することができます。



(6) もう一度Ⓐボタンを押すと点滅が止まります

※セット表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

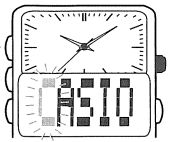
※テレメモモードのまま2～3分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

テレメモデータ修正

(1) テレメモモードのとき、修正したいデータを [＋] または [÷] キーを押して選びます。

(2) Ⓐボタンを約2秒間押して、セット表示（名前部1桁目が点滅）にします。

(3) ⒷまたはⒸボタンを押して修正したい個所に点滅を移動させ、入力キーで正しい文字（数字）を表示させます。



(4) データ修正後、Ⓐボタンを押します。

テレメモデータ消去

(1) テレメモモードのとき、消去したいデータを [＋] または [÷] キーを押して選びます。

(2) Ⓐボタンを約2秒間押して、セット表示（名前部1桁目が点滅）にします。

(3) Ⓛボタンを約2秒間押します。

➡"CLEAR" 表示後、データが1件消去されます。



※データ消去後は、引き続き他のデータを入力することができます。

(4) データ消去後、Ⓐボタンを押します。

テレメモデータを探す

(1) 見たい表示（名前）を探す

テレメモモードのとき、

[＋] または [÷] キーを押します



名前

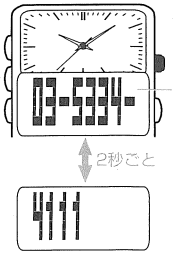
➡[＋] キーを押すとテレメモデータが名前順に進み、[÷] キーを押すと戻ります。

※それぞれ押し続けると早送りします。

※名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れるスイープ表示となります。（データの最後に "▯" マークがつきます）

(2) 電話番号を見る

Ⓑボタンを押します



電話番号

2秒ごと

➡Ⓑボタンを押すごとに「名前」と「電話番号」の表示が切り替わります。

※電話番号を9桁以上入力したときは、2秒ごとに番号が切り替わって表示されます。

4 ワールドタイムの使い方

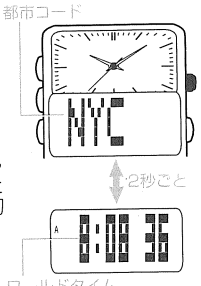
時刻・カレンダーモードのときに、Ⓒボタンを3回押してワールドタイムモードにします。

ワールドタイムは世界29タイムゾーン（27都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を簡単に知ることができる機能です。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

［＋］または［÷］キーを押します



➠各都市の標準時を表示します。（2秒ごとに「都市コード」と「ワールドタイム」の表示が切り替わります）

※それぞれ押し続けると早送りします。

ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市名がはじめに表示されます。

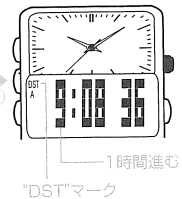
※ワールドタイムモードのまま6～7分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

時刻・カレンダーモードでホームタイムおよび都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
（16ページ「時刻・カレンダーの合わせ方」参照）
※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動しています。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

●サマータイムの設定

ワールドタイムモードのとき、

Ⓑボタンを約1秒間押し続けます



➠"**DST**"マークが点灯し、サマータイムでの表示＊になります。

＊サマータイムでの表示は、通常の時刻より1時間早まります。"**DST**"は、サマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。

※同様に、"**DST**"マークが点灯しているときにⒷボタンを約1秒間押し続けると、通常の時刻に戻ります。

※サマータイムは各都市ごとに設定することができます。

※"**GMT**"表示のときは、サマータイム設定はできません。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
---	−11		JED	＋ 3	ジッダ
HNL	−10	ホノルル	THR	＋ 3.5	テヘラン
ANC	− 9	アンカレジ	DXB	＋ 4	ドバイ
LAX	− 8	ロサンゼルス	KBL	＋ 4.5	カブール
DEN	− 7	デンバー	KHI	＋ 5	カラチ
CHI	− 6	シカゴ	DEL	＋ 5.5	デリー
NYC	− 5	ニューヨーク	DAC	＋ 6	ダッカ
CCS	− 4	カラカス	RGN	＋ 6.5	ヤンゴン
RIO	− 3	リオデジャネイロ	BKK	＋ 7	バンコク
---	− 2		HKG	＋ 8	ホンコン（香港）
---	− 1		TYO	＋ 9	東京
GMT	± 0	＜グリニッジ標準時＞	ADL	＋ 9.5	アデレード
LON	± 0	ロンドン	SYD	＋10	シドニー
PAR	＋ 1	パリ	NOU	＋11	ヌーメア
CAI	＋ 2	カイロ	WLG	＋12	ウェリントン
JRS	＋ 2	エルサレム			

※この表は1999年6月現在作成のものです。

※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

5 通貨換算機能の使い方

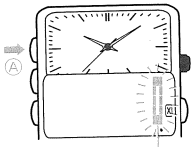
時刻・カレンダーモードのとき©ボタンを4回押して、通貨換算モードにします。

通貨換算モードでは、換算レートを入力しておくと、簡単に通貨換算ができます。

■レートの設定

(1) セット表示にする
通貨換算モードのとき、

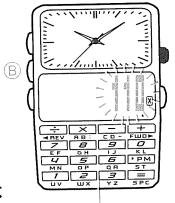
Ⓐボタンを約2秒間押します



➡「レート」が点滅します。

(2) レートのセット

入力キーでセットしたいレートを選びます



例) 1ドル＝110円のときは「110」と押します。

※押し間違えたときは、Ⓑボタンを押すと"0"になります。

(3) セット後、点滅を止めるには

Ⓐボタンを押します

※セット表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。
※通貨換算モードのまま6～7分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

●計算例（1ドル＝110円のとき）

例　題	操　作	表示窓
23ドルは何円？	☒ 23 ⊟	2530.
5000円は何ドル？	⊡ 5000 ⊟	45.454545

※ドル→円に換算するときは☒を表示させます。
円→ドルに換算するときは⊡を表示させます。
なお、換算したい方向に☒、⊡マークが合っているときは、そのまま数値を入力して［＝］キーを押せば換算が行なえます。
※［＝］キーを2回以上押すと、換算結果を再度換算するのでご注意ください。
※換算結果の確認の際は、小数点の位置にご注意ください。

★計算途中の訂正のしかた

計算途中に数字を押し間違えたときは、Ⓑボタンを押してから、正しい数値を入力します。
※Ⓑボタンを押すと、そのとき表示されている数値が消去されます。また、［×］［÷］キーを押し間違えたときは、Ⓑボタンを押して数値を消去してから引き続き正しいキーを押してください。

6 アラームの使い方

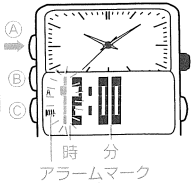
時刻・カレンダーモードのときに、© ボタンを5回押してアラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間電子音で知らせます。また、毎正時（00分のとき）に電子音で時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセットのしかた

(1)セット表示にする
アラームモードのとき、

Ⓐボタンを約2秒間押します

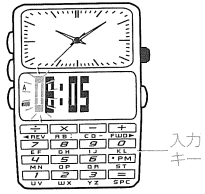


➡"))))"マークが点灯し、10時台が点滅します。

※アラーム時刻セット時に、ⒷまたはⒸボタンを押すと点滅箇所が移動し、セット箇所が選べます。

(2)アラーム時刻のセット

入力キーで、セットしたい時刻を選びます



例）8時 5分…「0805」
10時55分…「1055」

★午前／午後切り替え

12時間制表示のときは、時刻が点滅しているときに、［・PM］キーを押すごとに午前(A)／午後(P)が切り替わります。
※ホームタイムを24時間制にしているときは（16ページ参照）、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

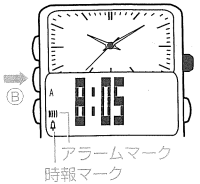
(3)セット後、点滅を止めるには Ⓐボタンを押します

※アラーム時刻セットのまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

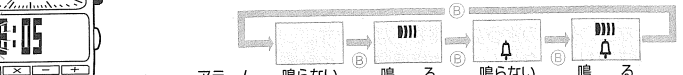
■アラーム／時報を鳴らすには

アラームモードのとき、

Ⓑボタンを押します



➡押すごとにアラームマーク、時報マークが以下の順に点灯／消灯をくりかえします。



※なお、Ⓑボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴り、アラーム音を試しに聞くことができます。

★鳴っている電子音を止めるには

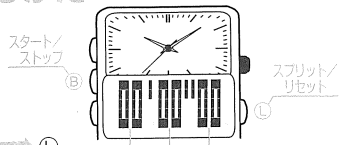
ⒶⒷⒸⓁおよび入力キーのいずれかを押します。

7 ストップウオッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓒボタンを6回押してストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは、1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた



●通常計測

Ⓑ スタート → Ⓑ ストップ → Ⓛ リセット

※積算計測… ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

計測中にⓁボタンを押すと「スプリットタイム計測」となり、以下のような計測も行なえます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓑ スタート → Ⓛ スプリット → Ⓛ スプリット解除 → Ⓑ ストップ → Ⓛ リセット

●1・2着のタイム計測

Ⓑ スタート → Ⓛ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓑ 2着ゴール → Ⓛ 2着タイム表示 → Ⓛ リセット

8 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

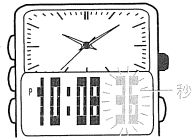
デジタル部の時刻・カレンダーを合わせてからアナログ部（針）部を合わせてください。

デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方（ホームタイム都市のセット）

(1) セット表示にする

時刻・カレンダーモードのとき、

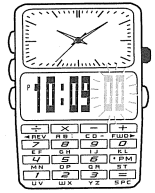
Ⓐボタンを約2秒間押します



➡「秒」が点滅します。

(2)「秒」合わせ…30秒以内の遅れ・進みの調整

時報に合わせて 0 キーを押します

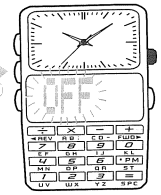


➡00秒からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって00秒からスタートします。（時報は「時報サービス117番」が便利です）

(3) サマータイムの設定

Ⓑボタンを押します



➡ONまたはOFFが点滅します。

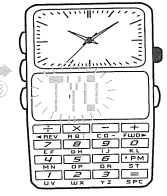
＋ または ÷ キーを押します

➡ONまたはOFFが切り替わります。

※ONのときは通常の時刻より1時間早まります。（サマータイムについては12ページ参照）

(4) ホームタイム都市の設定

Ⓑボタンを押します



➡「都市コード」が点滅します。

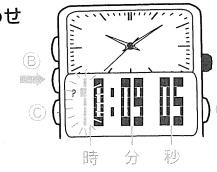
＋ または ÷ キーを押します

➡＋キーを押すと「都市コード」が進み、÷キーを押すと戻ります。（都市コードについては13ページ参照）

※それぞれ押し続けると早送りします。

(5)「時刻・カレンダー」合わせ

Ⓑボタンを押します



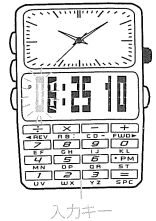
➡10時台が点滅します。

★12／24時間制表示切り替え

表示が点滅しているときに、Ⓛボタンを押すごとに12時間制表示（午前A／午後P）と24時間制表示とが切り替わります。

※表示が点滅しているときに、ⒷまたはⒸボタンを押すと点滅箇所が移動して、セット箇所が選べます。押し間違えたときや、時刻を修正するときなどに便利です。なお、それぞれ押し続けると早送りします。

入力キーで、セットしたい時刻・カレンダーを選びます



例）1999年1月22日8時25分のときは、「0825990122」と押します。
2000年11月30日10時55分のときは、「1055001130」と押します。

★午前／午後切り替え
12時間制表示のときは、時刻が点滅しているときに、[・PM]キーを押すごとに午前A／午後Pが切り替わります。

(6) セット後、点滅を止めるには

Ⓐボタンを押します

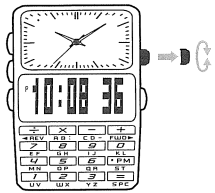
※セット表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

- カレンダーは1995年1月1日から2094年12月31日までセットできます。なお、曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換以外は修正不要です。

■アナログ（針）部の合わせ方

(1) リューズを引いて、運針を止めます。

(2) リューズを回して、時刻を合わせます。



※時刻を合わせるときは、針を正転方向（進む方向）に回して合わせてゆき、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせると正確に合わせることができます。

(3) リューズを押し込みます。

備忘録

万一に備え、メモリーしてあるデータをこの備忘録にメモしておくことをおすすめします。
※足りない場合はコピーしてお使いください。

name	TEL	name	TEL

memo

memo

memo

memo

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差±30秒以内

基本機能：アナログ部＝3針（時・分・秒）
デジタル部＝
時刻表示…時・分・秒、午前(A)／午後(P)／24時間制表示
カレンダー表示…月・日・曜日、フルオートカレンダー（1995~2094年）

計算機能：8桁加減乗除、四則定数計算、計算状態表示、操作確認音 ON／OFF

テレメモ機能：名前（8文字）と数字（14桁）のデータを最大30件まで記憶

ワールドタイム機能：世界29タイムゾーン（27都市）の時刻、世界標準時（GMT）の時刻を表示、サマータイム設定機能

通貨換算機能：換算レート（1種類）設定、通貨換算

アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報知

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、ELバックライト、モニターアラーム、デモ機能

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップ　CMOS-LSI

使用電池：CR-1620（電池別途販売）

電池寿命：約2年
（1日当たりアラーム20秒間、ライト1.5秒間使用した場合）

ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

■磁気

● 家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

■薬品類

● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、匂いの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

● 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。

● 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

> 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

● 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」

• ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

• 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」

• 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」

• 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

• 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

● 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「ライト点灯時に針が止まったり、輝度が低下したり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

● 電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

※ 電池交換と行なうと、本機に記憶されているデータは消えてしまいます。大切なデータはノートなどに書き写しておくことをおすすめします。